

今みなさんの身の回りにある、色々なモノを見渡してみてください。

壊れたり破れたりして、ダメになるまで大事に使っていますか。
そして、どうしても使えなくなっても、別の使い道を考えてますが。

今は手間ヒマかけずにモノが作られる時代です。

簡単にモノができるから簡単に捨ててしまう。

安いものがたくさん溢れて、粗末に扱って後は捨てるだけ。

こうなるのもしょうがないのかもしれない。

便利ですし簡単ですから。

でも、何か大切なことを忘れていませんか？

私たちが住んでいるこの美しい地球上では、全てのものが循環しています。

水や、空気や、植物や、動物たち。

そんな中でわたしたち人間だけが循環せずに「捨てる」で終わってしまっている。

これが今の世の中です。

丁寧に作って、大切に使って、なるべく捨てずに自然に還す。

ほんの百年前のむかしの人たちがあたりまえにやってきたことを見習って

畑に綿の種を蒔き、糸と布のモノ作りを続けていく。

それが私たち益久染織研究所です。

柔らかい手触りの糸や布を、一度手に取ってみてください。

そこには自然のやさしさが溶け込んでいます。

そういったやさしい自然から生まれた糸と布は

全て自然に還ることが出来るモノなのです。

「未来へ。おかえし。」



益久染織研究所

"益久の一番の特徴は糸の紡績方法です"

そして わた栽培～紡績～染色～織布～縫製までを一貫生産しています
棉の等級、糸の太さ、糸の撚り数を駆使し、今の糸を作り上げました。



わた栽培

棉栽培は自然栽培によるものです

24節気に伴って昔からの農法でさいばいします

山東省は昔から、小麦、ニンニク、わたの産地です。ニンニクを栽培すると虫が寄ってこないことを生かし、ニンニクの裏作で綿を作っています。鍬、鎌だけで農業を続けてきました。今でこそ、オーガニック、有機栽培、などと特別な扱いをしますが、24節気にもなって無農薬で農業を行ってきました。種まき、水やり、雑草取り、剪定すべて手作業で行います。春ごろに蒔いた種は夏の終わりに花を咲かせ秋にはコットンボールになります。かつて一度も農薬、肥料を使ったことのない大地で自然栽培を行います。

農薬の残留 農薬を使った大地を汚すことと、生産農家の人の健康障害になる。棉には農薬は残留しないと言われています。



無加工で高いUVカット率

ガラ紡はわたから糸にするための工程数が少ないことと、後加工を施さないことから、わたの本来持つ性質が損なわれていないことから、無加工なのにUVカット率が高いのです。本来、綿毛が中の種子を守るためにUVカットをする性質がそのまま残っています。

UVカット率80%以上



紡績

わたから糸にはガラ紡機(日本人が唯一発明した紡績機)で紡ぎます



臥雲辰致が明治のころに発明したガラ機でゆっくりと糸を紡ぎます。紡績機の100分の一のスピードです。機械といっても近代化されすぎていない、人の手が加えられる道具のような機械です。スピンドルの原理と同じガラ紡糸は最も手紡ぎ糸に近い糸に仕上がります。ゆっくりと紡ぐことで糸の中心に空気が入り

ガラ紡機

紡績の変遷



スピンドル



手紡ぎ



臥雲辰致と岡崎のガラ紡機

紡績糸と手紡ぎ・ガラ紡糸の違い

[紡績工程]

●手紡ぎ、ガラ紡糸 コットンボールの手摘み→種取り→綿打ち→じんき巻き→紡ぎ

●紡績糸 コットンボールの収穫→種取り→混打綿→梳綿(もつれあった繊維を解きほぐして1本1本の繊維に分離する。)->練糸(スライバーを引き伸ばし繊維を平行にする)->粗紡(粗糸を引き伸ばし、よりを加えて強度を持たせ糸を作る)

[紡績の1/100の生産量/日]

●手紡ぎ 1日(8時間)/1人 200g

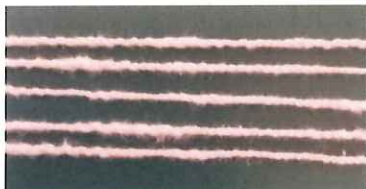
●ガラ紡 1日(8時間)/1睡 100g



スライバー

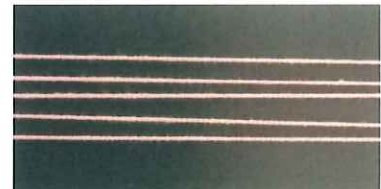
ガラ紡糸

同じ太さには仕上がらないガラ紡糸



紡績糸

太さの一定の紡績糸



糸の紡ぎ方の違い

紡績糸は番手通りの糸をつくる為、紡績するまでの前工程が多く、綿毛をまっすぐに揃えなければならない。又、高速回転や、強く引っ張る力で均一の糸を作り出す。方や、手紡ぎ、ガラ紡糸は自然のリズムでゆっくりと綿毛が無理なく繊維になっていく。まさに綿毛が自然に紡がれたままに糸になっていく。その時に空気を含み、軽い糸に仕上がる。まさにストレスフリーの糸に仕上がります。

染色

天然染料(漢方染料)



漢方染め

漢方薬の集散地で染材料を購入、一部栽培できるものは工場で栽培をしています。



藍染め 化学建て

空気に触れることで藍色に発色します。淡色10回から濃色30回は染重ねを行います。

柿渋染め

3年以上熟成させた柿渋液を使って染めます。



生地のだれ干し

干し方は乾燥機を使うこともありますが、手紡ぎ、ガラ紡糸は自然乾燥が一番生地にとって良い状態に干しあがります。気候などにより干し方を変えています。

化学染料(アゾフリー染料)

アゾフリー染料とは

発がん性物質を含まない化学染料
短時間で染められ、水量も少なく、助剤もソーダ灰(石鹼、ガラスなどの原料)と芒硝(入浴剤や生薬などの原料)を使います。
色々な観点の見方によって天然染料染めと比べてどちらが良いかは一概には言えません。





織 布

明治の頃の動力織機 (シャトル機)で織り上げます

広幅を織るために動力織機を用いました。本来は手織り機で織る糸なので糸切れが起こり、織り上げた後に補修が必要になります。2丁の杼を使い左右交互に織ります。そうすることで織段を防いでいます。



動力織機



補 修



手紡ぎ糸、ガラ紡糸は柔らかいため糸切れを起こします。織りあがった後、1目ずつ縫うように補修をします。手間暇のかかるこの作業をすることでA品率を高めています。

裁 断 と 縫 製



手裁断



縫製

検針機



打ち合わせ

色々な問題点を相談しながら改善します。

お 使 い に な る 前 に

●織段があります

手紡ぎ糸・ガラ紡糸など太さが一定でない糸で織り上げているため、織り段をなくすことができません。緯糸を交互に入れておりますが、更に手を加えることで布の本来の風合いを損ねることになりますので、敢えて、これを完成品としています。

●ネップがあります。

糸の太いスラブの部分が押し出されることにより、ネップになります。これも手紡ぎ糸・ガラ紡糸を使用していることによる特徴です。



●がくカスがついています

紡績糸と違い、手紡ぎ糸、ガラ紡糸はわたから糸への生産工程が少なく、又、できる限り薬品処理を行わないため、がくカスが残っています。特に手摘みでわたを収穫するため、雨の多い年は特にがくカスが残っています。お使い頂くうちに自然に取れていきますので、安心してお使い下さい。(枯葉剤を使用していないことの裏付けでもあります)

●ロット違いが生じます

自然栽培綿の手紡ぎ糸、ガラ紡糸を使用しているために、色、柔らかさなど、糸は罎やコーンごとに、布は反ごとにロット違いが生じます。

●お洗濯にひと手間がかかります

素材の特徴上、お洗濯の後、そのまま干すと縮みが生じます。(織組織によって変わります5~20%)
まだ濡れている状態で形を整えて干して頂くとほぼ元の寸法に戻ります。
お手数でも必ず、タテヨコに軽く伸ばし、元通りの形に整えてから干していただきますようお願い致します。

試験報告書

依頼者 株式会社 益久染織研究所 殿
 品名 ①No. 9601-011 ガラ紡 317/1 細番手平織り
 ②No. 9601-021 ガラ紡 317/1 細番手ガーゼ
 ③No. 9602-001 ガラ紡 417/2 平織り
 ④No. 9610-001 ガラ紡 317/2 細番手綾織り
 ⑤No. 9668-039 ガラ紡 317/1 細番手ギンガムストライプ 5点
 試験項目 寸法変化率 他

2021年 5月17日付で当所に提出
 された試料の試験結果は下記のとおりです。

カケン

〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目5番19号
 一般財団法人 **カケンテストセンター**
 大阪事業所
 Tel (06)6441-6808 Fax (06)6441-6810



2021年 5月20日

記

試験項目	試料	KAKEN					試験方法
		①生成	②生成	③生成	④生成	⑤黒	
水洗い 寸法変化率 (%)	たて	-2.7	-3.7	-7.2	-5.0	-3.2	JIS L 1930 C4M法 吊干し 中性洗剤使用
	よこ	-1.7	-0.7	-1.0	-2.2	-2.0	
紫外線遮蔽率 (%)		88.5	-	86.1	98.2	98.1	JIS L 1925

以上

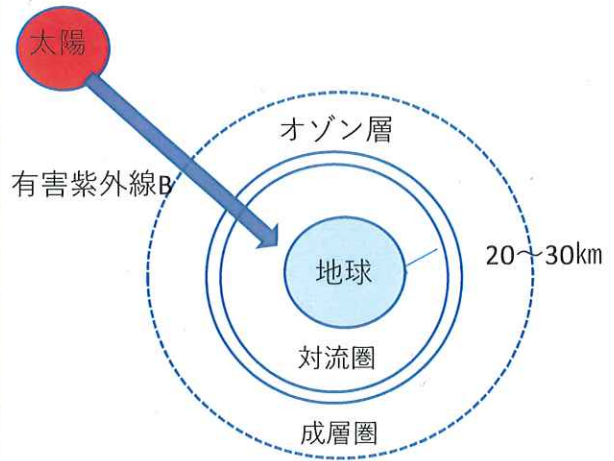
益久の商品を使うことでいくつかの
環境問題を軽減したり、体を守ることに役立つ

オゾン層の破壊

和紡ふきんで食器洗いをする フロンガスによりオゾン層が破壊されている。オゾン層が破壊されることにより 有害紫外線が届き皮膚がんなどになる。フロンは大気中に放出されてからオゾン層に到達するまでに15年かかる。冷蔵庫、エアコン、自動販売機の冷却機能、

台所のウレタンスポンジはフロンにより作られている →冷却機能は今、代替えフロンにより使用されなくなった。しかし、代替えフロン(HFC)はオゾン層破壊はゼロですが、二酸化炭素の何千倍も 温暖化を促進することがわかっている。
※フロンの使用(冷却、洗浄、発砲)
昔は夏の日差しにあたって冬にかぜをひかないように言っていたが、今は幼稚園児はたれのかかった帽子をかぶったり、紫外線除けは必須になって

オゾン層の破壊



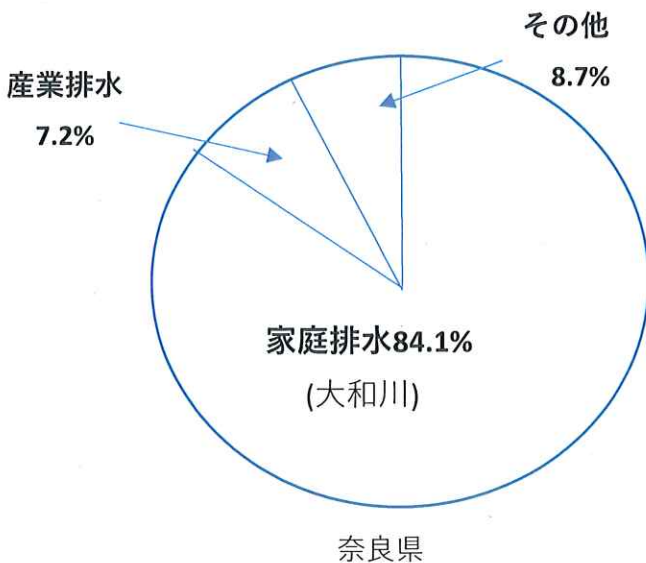
【洋服、ストール、カーテン】

・オゾン層の破壊による有害紫外線から、体を守る 無加工なのにUVカットする力

【和紡布】

・ウレタンスポンジの軽減

水の汚れの原因



海、河川の水の汚れの軽減

水質汚染の70%(全国)は家庭排水と言われている。

合成洗剤は水に溶解しない成分を含んでいる。

和紡布は石鹼洗剤なしで汚れを落とせる。石鹼洗剤の使用料を減らすことで水の汚れ

【和紡布】

洗剤をできる限り少なく使用。

又、ウレタンスポンジに頼らない生活。

経費毒から体を守る 経皮から吸収された化学物質は分解されることなく血液を通して体全体に送られる。肌への刺激が少なく、自然治癒力を取り戻せる

資源の枯渇、温暖化

天然繊維を身に着ける。
特に綿は成長の過程で二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する。合成繊維はプラスチックを着ているのと同じ

【靴下、ウォーマー、布ナブ】

身体を温めることで自然治癒力を高める
後加工しないことで安全な布を使用している

埋蔵資源の枯渇年数

石油	約50年
石炭	約132年
天然ガス	約50.9年

経済産業省
資源エネルギー庁
2018年調べより

化学物質から体を守る

睡眠は体を整える時間。

安全な空気を吸って一般的なほとんどのカーテンの布には、機能性を高めるために、防カビ、防縮、防炎などさまざまな加工がされており、これらは全て化学物質によるもの。

【寝具、カーテン】

毎日、呼吸をする私たち。それはお部屋の中でも同じです。自然素材の住まいは森の中にいるようで心地良い空間です。たとえば、無垢の木で作られたお部屋は木の香りが、安らぎを与えてくれる。お部屋の中がまるで森林浴をしているような空間に... 100年無農薬の大地で育った綿は光・土・水など自然の恵みを沢山含み、私たちが優しく包み込んでくれます。手紡ぎ糸から生まれる素朴な素材をカーテンに、きれいな空気でリラックス。思わず深呼吸したくなるような空間づくりのお手伝い。私たちの生活は大変便利な環境になっています。しかし、一方では身体の異変が起きています。様々なアレルギーや化学物質過敏症を発症する方が増え、ここ数年では「香害」と呼ばれる洗剤・柔軟剤などに含まれる香料成分に起因した健康障害も起きています。病気の原因は、ストレスや遺伝もありますし、室内環境、屋外環境、食べ物、衣類などいくつかの要因として複雑に絡み合っています。

一日の呼吸量

一般成人の呼吸量が平均12000ℓ/日 2ℓペットボトルでは6000本です。

食べ物は消化器官で毒素を排出する機能があります。空気は直接肺に取り込まれて吸収され、血液を通して体全体に流れます。空気は食べ物+飲み物の5倍以上取り入れているので、健康に大きな影響を与えているのです。

予防策

- 室内の空気を汚さない。
- 換気を行う。殺虫剤、芳香剤消臭剤は、使用しない。
- 安全な食品を選ぶ
- 合成洗剤はやめて純正石鹼に
- 住宅の新築、改築の建材に注意